

台風12号による土砂災害

～三重県における紀伊半島大水害～

平成23年9月1日～4日発生



三重県県土整備部河川・砂防室

〒514-8570 津市広明町13番地

TEL 059-224-2697

FAX 059-224-2625

E-mail kawasabo@pref.mie.jp

三重県URL <http://www.pref.mie.jp/>

河川・砂防室URL <http://www.pref.mie.lg.jp/KAWASABO/HP/>

三重県土砂災害
情報提供システム http://www.1.sabo.pref.mie.jp/mie_gis/start.php



大和田川(南牟婁郡紀宝町浅里和田)



所谷川(津市美杉町石名原)



茗荷古(熊野市井戸町大馬)



ジャンクの谷(南牟婁郡紀宝町高岡)

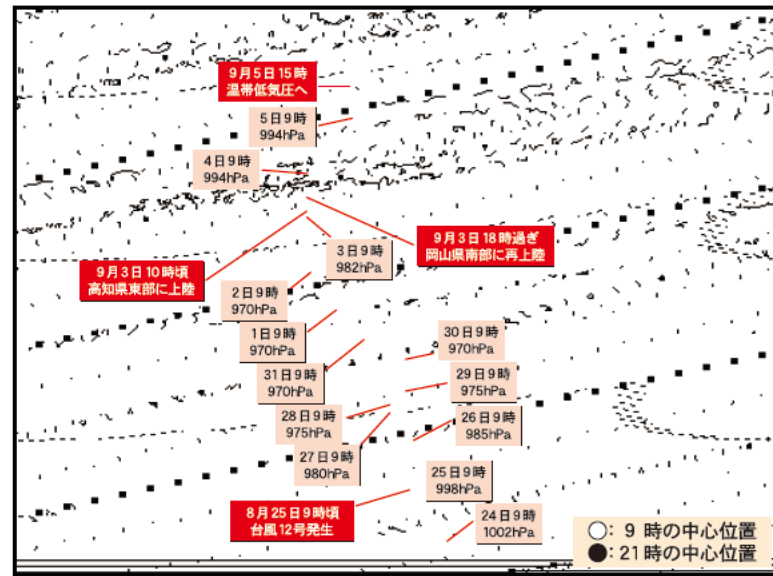
平成24年1月

台風12号による被災概要

■台風12号の概況

平成23年8月25日9時にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風第12号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、28日15時には「大型」の台風となり、30日3時には小笠原近海で「大型で強い」台風となりました。台風はその後ゆっくりとした速度で北西に進み、次第に進路を北に変えながら、9月3日10時前に高知県東部に上陸しました。同日18時ごろに岡山県南部に再上陸した後、中国地方を北上して4日未明には日本海に抜け、9月5日15時に温帯低気圧となりました。

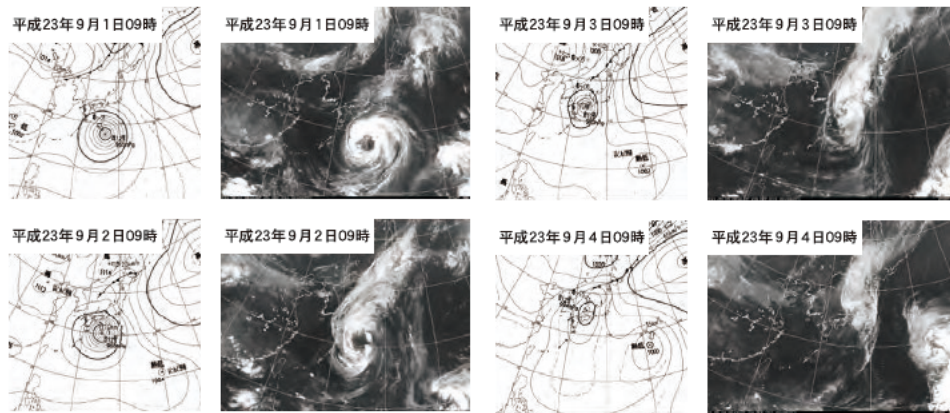
台風が大型で、さらに台風の動きが遅かったため、長時間にわたって台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。



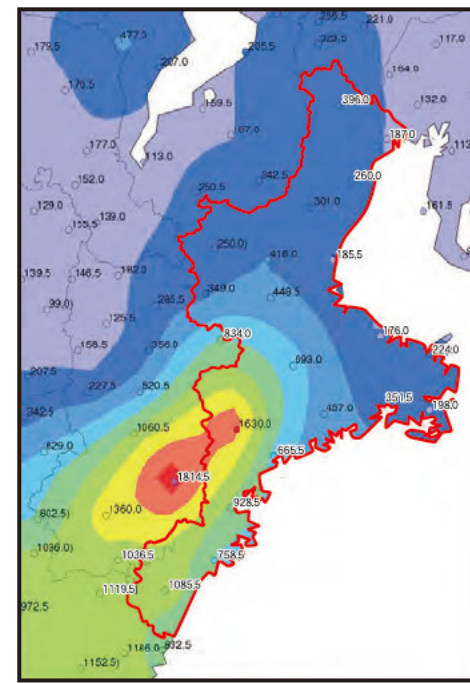
台風経路図 [日時、中心気圧 (hPa)]

■三重県の降雨状況

台風の接近に伴い、三重県内では8月30日夜から雨が降り始め、9月1日から5日朝にかけて南部を中心に長時間にわたって激しい雨が降りました。降り始めからの総降水量(8月30日20時から9月5日12時まで)は、宮川観測所(多気郡大台町)で1630.0ミリ、御浜観測所(南牟婁郡御浜町)で1085.5ミリを観測する記録的な降水量となり、24時間雨量では、宮川観測所、御浜観測所、紀伊長島観測所(北牟婁郡紀北町)、熊野新鹿観測所(熊野市)、北勢観測所(いなべ市)で観測史上最大を記録しました。



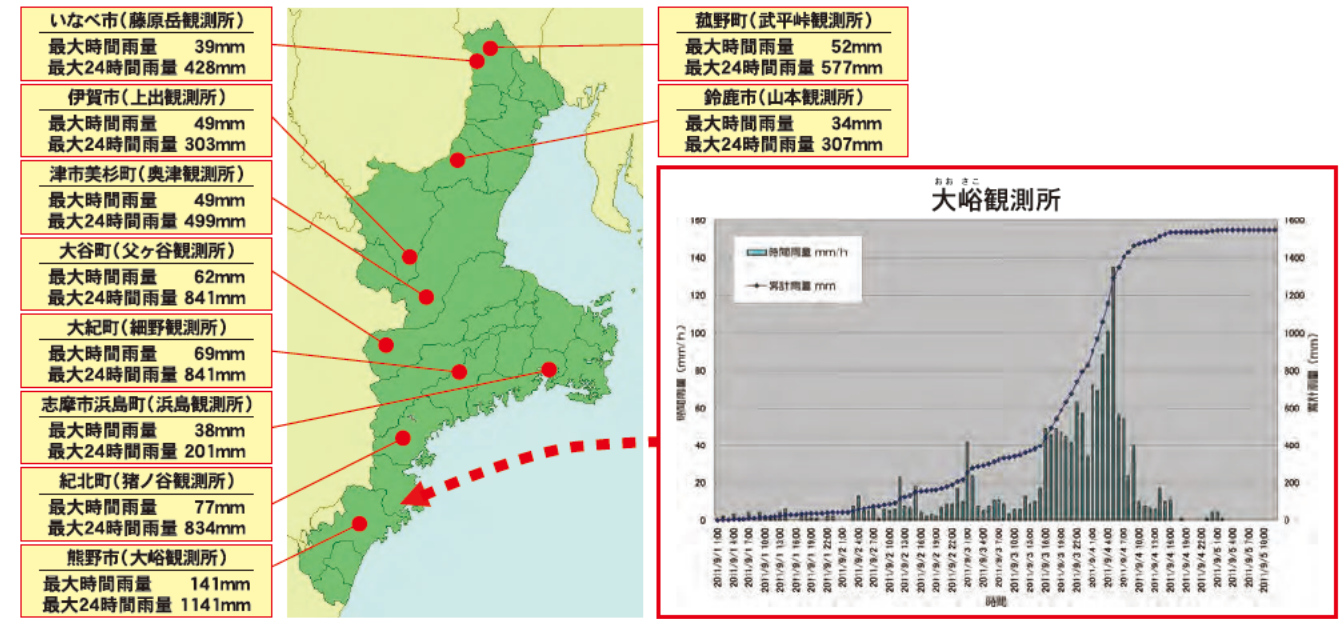
津地方気象台提供資料



積算降水量分布図
(8月30日0時~9月5日24時)

■気象・降雨状況

9月1日~5日の各地の降雨状況



■被害の概要

各地で土砂災害、浸水、河川の氾濫等が発生し、床上・床下浸水などの住家被害、田畑の冠水などの農林水産業への被害、鉄道の運休などの交通機関への影響も広範囲にわたりました。

■人的被害

平成23年11月1日現在

死者 … 2名 (御浜町1名、紀宝町1名)
行方不明者 … 1名 (紀宝町1名)
負傷者 … 15名 (重傷5名、軽傷10名)

■住宅被害

平成23年11月1日現在

全壊 … 84棟
半壊 … 1087棟
一部損壊 … 69棟

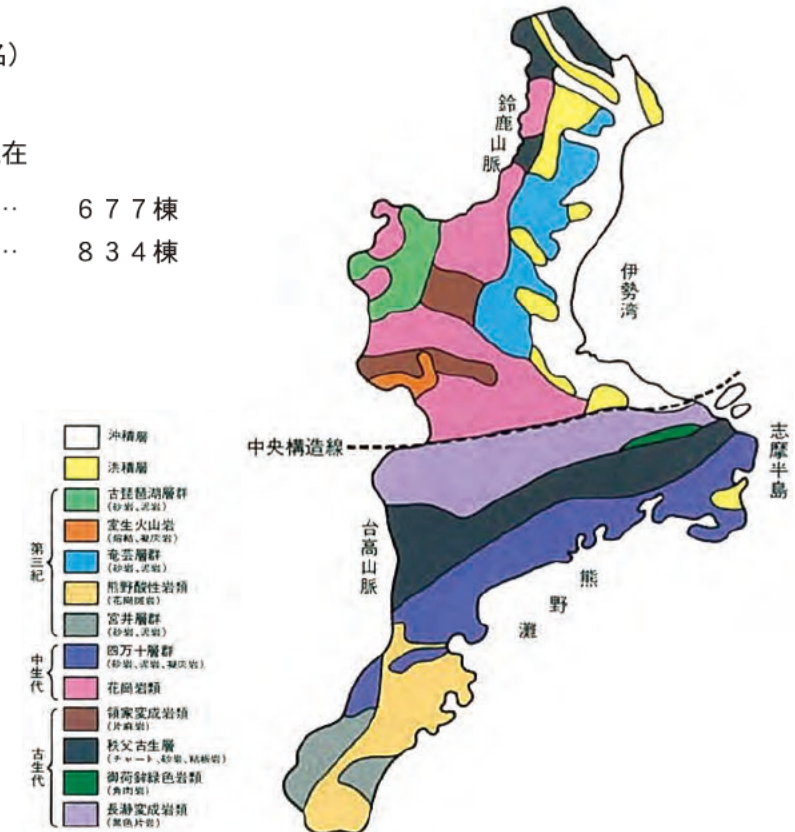
床上浸水 … 677棟
床下浸水 … 834棟

■地質状況

本県の地質は、県土中央部を流れる榊田川に平行した中央構造線によって県北部と県南部に二分されています。

県北部には、古生層のなかに中生代末期の花崗岩類が貫入し、新第三紀・中新世の奄芸層群が堆積しています。

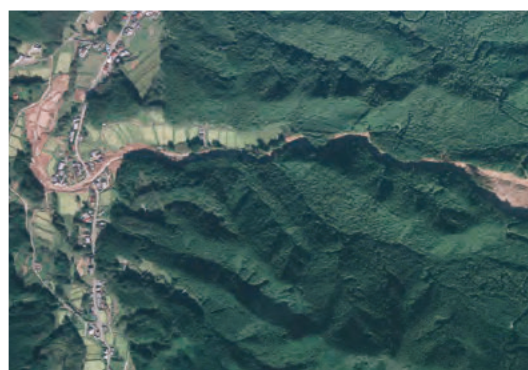
県南部には、中央構造線に平行して変成岩類、秩父古生層の古生層、中生層、第三紀層が北から南へ並んでいます。



平成23年 台風12号による三重県内の土砂災害発生箇所位置図

■台風12号による土砂災害発生状況と被害状況について

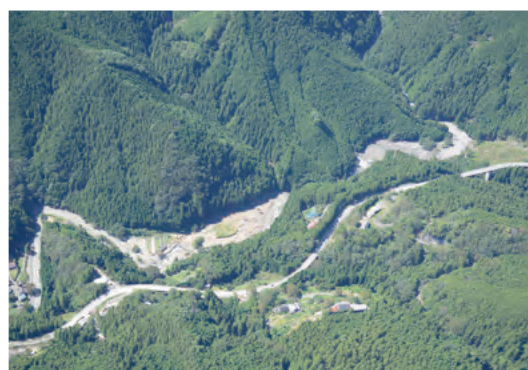
土砂災害原因	発生件数	死者	行方不明者	負傷者
土石流	13		1	1
がけ崩れ	25			
地すべり	2			
合計	40件	0名	1名	1名



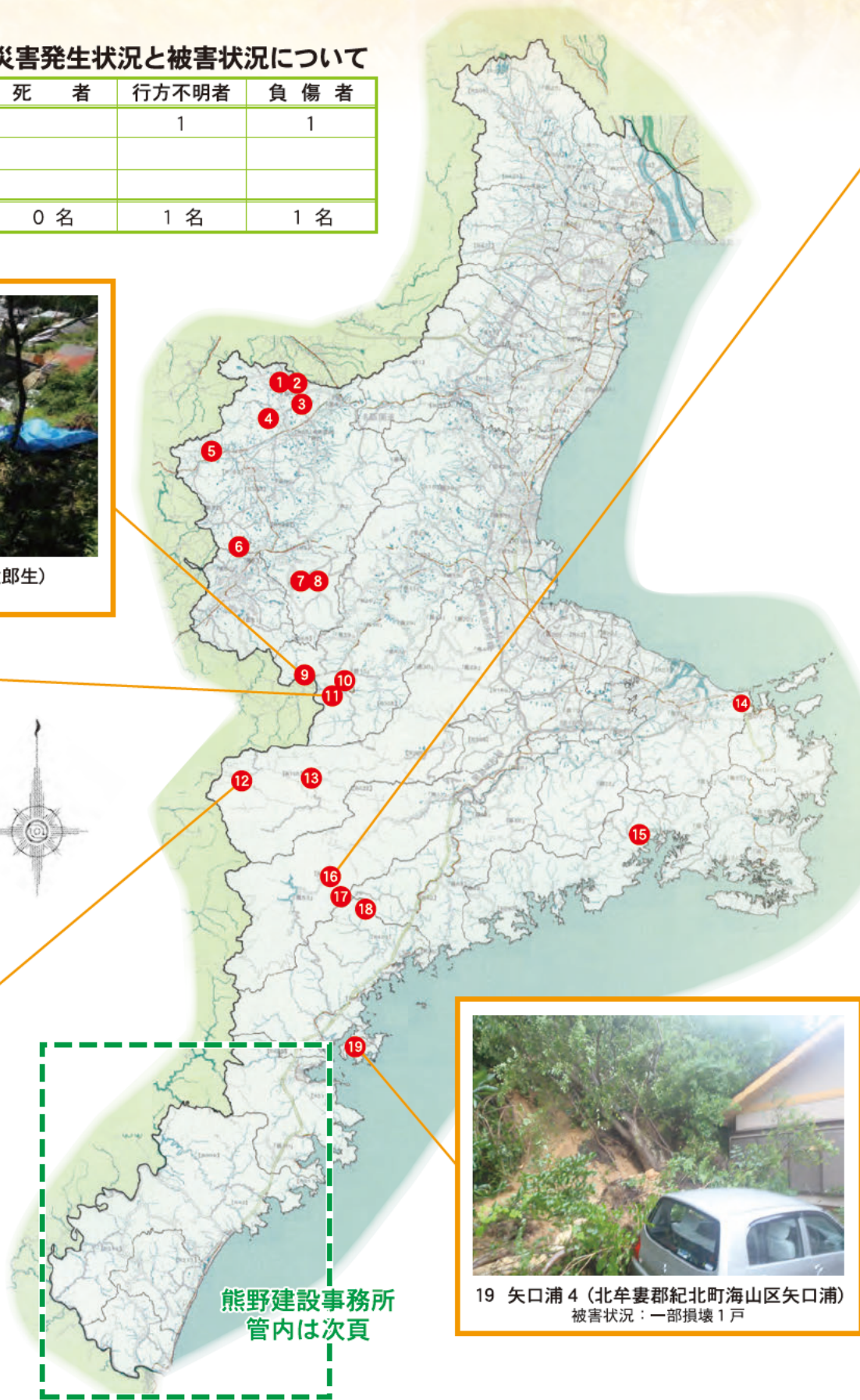
11 所谷川(津市美杉町石名原)
被害状況：全壊1戸、一部損壊4戸、橋梁2橋流出



9 佐野地北(津市美杉町太郎生)
被害状況：一部損壊1戸



12 無名谷(松阪市飯高町木梶)
被害状況：非住家被害1戸



16 持山谷川(多気郡大台町岩井)
被害状況：全壊1戸、半壊1戸、橋梁1橋流出



土砂災害発生箇所と原因について

番号	箇所名	土砂災害原因	発生場所	砂防事業 対応予定
1	窪田	がけ崩れ	伊賀市内保	
2	内保II-1	がけ崩れ	伊賀市内保	
3	西出	がけ崩れ	伊賀市中友田	
4	石川II-7	がけ崩れ	伊賀市石川	
5	西出3	がけ崩れ	伊賀市西山	
6	安場2	がけ崩れ	伊賀市安場	○
7	老川5	がけ崩れ	伊賀市老川	
8	老川2	がけ崩れ	伊賀市老川	○
9	佐野地北	がけ崩れ	津市美杉町太郎生	
10	—	地すべり	津市美杉町石名原	
11	所谷川	土石流	津市美杉町石名原	◎
12	無名谷	土石流	松阪市飯高町木梶	
13	恋ヶ谷	地すべり	松阪市飯高町七日市	
14	茶屋2	がけ崩れ	伊勢市二見町茶屋	
15	伊勢路8	がけ崩れ	度会郡南伊勢町伊勢路	
16	持山谷川	土石流	多気郡大台町岩井	
17	東又谷	土石流	多気郡大台町松原	
18	鍛冶屋又川	土石流	北牟婁郡紀北町紀伊長島区十須	
19	矢口浦4	がけ崩れ	北牟婁郡紀北町海山区矢口浦	

注) 対応予定の◎は、災害関連緊急砂防事業実施箇所
無印は他事業対応予定

■三重県内の災害関連緊急砂防事業実施箇所は下表のとおりです。

番号	箇所名	発生場所	事業費
11	所谷川	津市美杉町石名原	約2.0億円
20	茗荷古	熊野市井戸町大馬	約1.0億円
23	紺屋地谷	熊野市井戸町瀬戸	約1.6億円
26	上大長田谷	熊野市金山町上地	約1.9億円
32	里地谷	南牟婁郡紀宝町神内	約1.4億円
33	ジャングルの谷	南牟婁郡紀宝町高岡	約1.4億円
36	大和田川	南牟婁郡紀宝町浅里和田	約1.6億円
合計			約10.9億円



19 矢口浦4(北牟婁郡紀北町海山区矢口浦)
被害状況：一部損壊1戸

熊野建設事務所
管内は次頁

平成23年台風12号による三重県内の土砂災害発生箇所位置図

熊野建設事務所管内



20 茗荷古(みょうがふる) 熊野市井戸町大馬
被害状況：全壊1戸



26 上大長田谷(かみおおながたに) 熊野市金山町上地
被害状況：全壊2戸、半壊1戸



33 ジャングの谷(ジャングのたに) 南牟婁郡紀宝町高岡
被害状況：全壊5戸、半壊3戸、一部損壊2戸



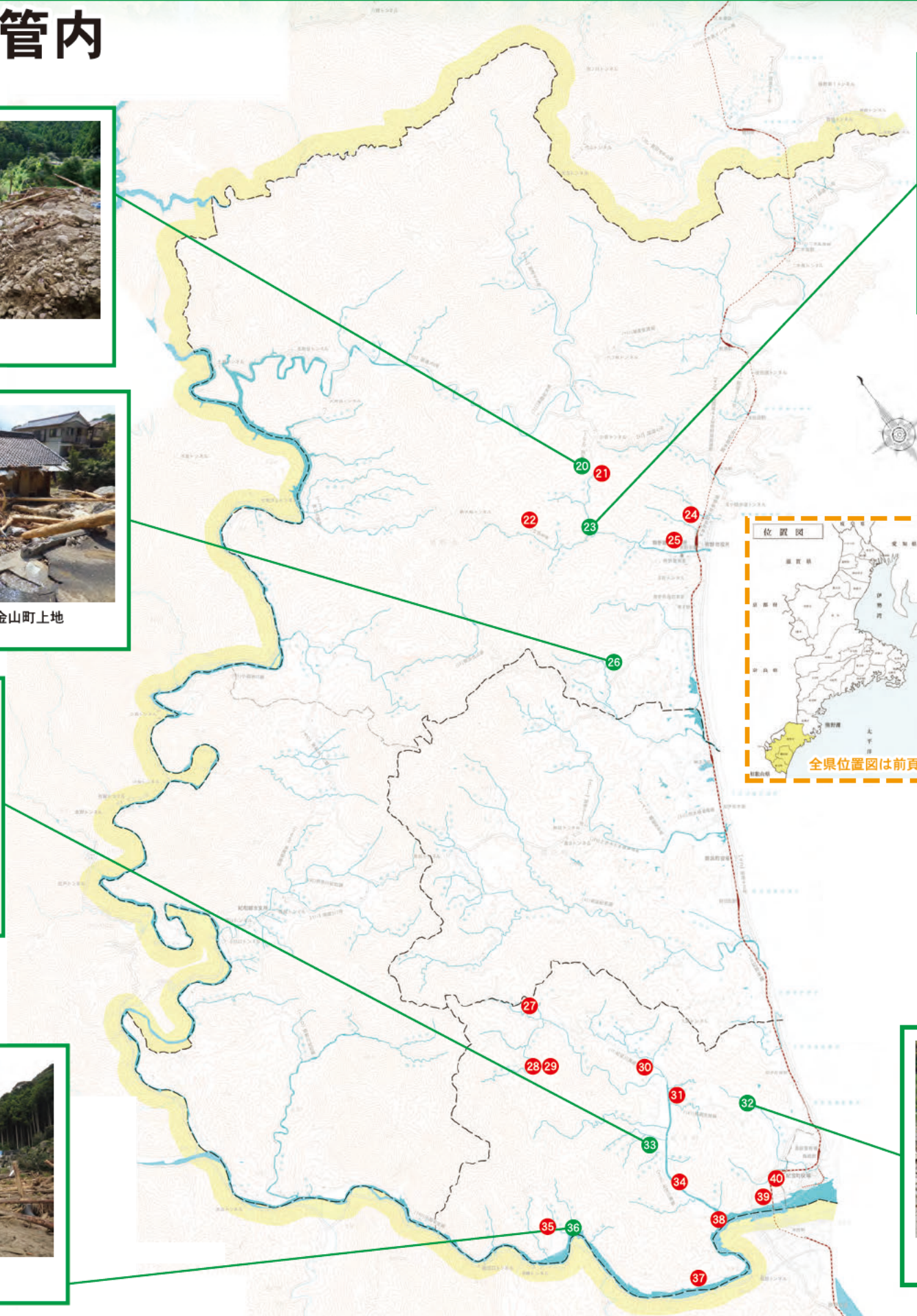
36 大和田川(おおわだかわ) 南牟婁郡紀宝町浅里和田
被害状況：行方不明1名、全壊8戸



23 紺屋地谷(こんやじたに) 熊野市井戸町瀬戸
被害状況：全壊3戸



32 里地谷(さとじだに) 南牟婁郡紀宝町神内
被害状況：半壊1戸、一部損壊5戸



土砂災害発生箇所と原因について

番号	箇所名	土砂災害原因	発生場所	砂防事業 対応予定
20	茗荷古	土石流	熊野市井戸町大馬	◎
21	評議川	土石流	熊野市井戸町大馬	○
22	無名谷	土石流	熊野市井戸町瀬戸	
23	紺屋地谷	土石流	熊野市井戸町瀬戸	◎
24	古城3	がけ崩れ	熊野市木本町切立	○
25	紺屋地2	がけ崩れ	熊野市井戸町紺屋地	○
26	上大長田谷	土石流	熊野市金山町上地	◎
27	桐原4	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町桐原	○
28	藤根1	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町桐原	
29	桐原3	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町桐原	
30	大里西1	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町大里	○
31	永田2	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町大里	○
32	里地谷	土石流	南牟婁郡紀宝町神内	◎
33	ジャングの谷	土石流	南牟婁郡紀宝町高岡	◎
34	郷原	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町高岡	
35	津呂地	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町浅里津呂地	
36	大和田川	土石流	南牟婁郡紀宝町浅里和田	◎
37	北檜杖	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町北檜杖	○
38	久保利1	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町鮎田	
39	中村	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町成川	○
40	下地	がけ崩れ	南牟婁郡紀宝町成川	

注) 対応予定の◎は、災害関連緊急砂防事業実施箇所
無印は他事業対応予定

